

東京西サト一製品販売株式会社 **NISHI SATO**

〒190-0013 東京都立川市富士見町1丁目3番14号
TEL:042-525-4475 E-mail:info@nishisato.com

1時間かけていた作業が、
たったの5分で!!
それに伴い、社内で起こった
思わぬ現象とは・・・?



シンジェンタジャパン株式会社 様



～植物のちからを暮らしのなかに～ スイスに本社を置くマルチナショナルカンパニーの日本法人である同社は、気候や風土の異なる90ヶ国以上の地域で得た知識と技術を活用して、日本の農業の発展に貢献しています。その売上の大半は農業ですが、花の種子の取扱いに関しても常に業界トップクラスに君臨しています。今回お邪魔したのは千葉県にある「成田シードセンター」様。花の種子を専門で取り扱うフラワー事業部様にて、ラベルプリンタCL4NX-J12の導入についてお話を伺いました。

カスタマーサービス・サプライチェーンチーム

INTRODUCTION

世界の花を成田から全国へ! 2020年東京五輪にも挑戦!

当センターではオランダやカリフォルニアで育種開発された様々な花の種を、全国のプロ農家さんに出荷しています。それらは農家さんのもとの苗や鉢物に育てられ、日本中のホームセンター様や園芸店様などの店頭で並べられています。またテーマパークなどの植栽で活用されることもあります。例えば最近注目度が上昇している「東京ドイツ村」様。その春を彩る25万株の壮大なシバザクラはほぼすべて弊社品種です。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの植栽に向けても各地で試験を行っているところです。時代は常に新品種を求めます。今では当センターでの取扱い品種数は1,000種類以上に及んでいます。



カスタマーサービス サプライチェーンチーム
リーダー 鈴木 智士 様

ラベルの発行に大きな手間と 時間がかかっていました

当たり前の話ですが、種の出荷時には種苗法に基づいて正しいラベル表示(品種名・発芽率・ロットNO.・採取場所など)をしなければなりません。しかし品種数は1,000種以上、更にロットごとに管理をする情報が異なります。その膨大なパターン数を、これまではエクセルで作ったファイルに手入力してシール紙に印刷していました。データファイルの場所も社内LAN上に点在していて、いくつものフォルダを参照する必要がありました。作業の工程数が多く繁忙期などはほとんどエンドレス。農家さんの「この日に蒔きたい」に確実に応えるには、作業の簡素化が必須でした。そこで専用ラベルプリンタを導入することになったのです。



PROCESS

① ラベルプリンタを導入しよう！でも・・・

専用のラベルプリンタを導入しようと思いつつ、何を基準に選んで良いのかが分からず始めの一步を踏み出せないうでいました。ネットで見て、どういった基準で選んでいいのかが明確には分からず、導入計画は遅々として進みませんでした。

③ 話はトントン拍子に！ 決め手となったのは・・・

システム部や、実際にラベルを発行するメンバー立会いのもとデモンストレーションを見て、発行までの準備や発行時間が効率化されると確信しました。渡辺さんからは比較的安価な小型プリンタの提案もいただきましたが、「どうせ導入するなら一番いいものを！」との思いから、CLANX-J12に決定しました。とは言え使いこなせるか若干の心配もあったので、ネットワークで24時間の見守りサポートが付帯されている事が安心材料になりました。

④ CLに決定！ ・・・と思ったら、決裁が通らない！？

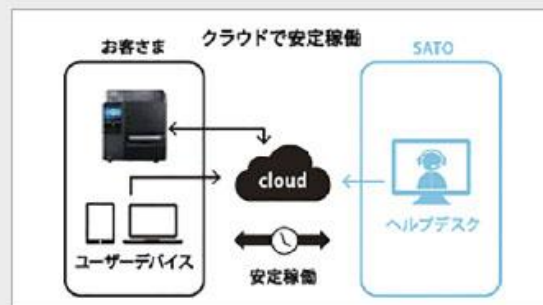
24時間の見守り保守は心強い反面、セキュリティが厳しい当社において、社内LANに通っているものをモニタリングされる・・・という状況が問題になりました。しかしCLシリーズはクラウド型メンテナンス。クラウドにあげた情報のみウォッチされるということが分かり、晴れてゴーサインが出たというわけです。

選んだ理由は製品の機能。 使ってみて大事さに気づいたのは・・・

先日、印刷しようとする、ラベルがゴムローラーに貼り付いて、グルグル巻きになってしまいました。出荷間際だったこともあり、一同、顔面蒼白です。ヘルプデスクへの電話とディスプレイの動画で事なきを得ましたが、ヘルプデスクの対応はとて満足できる内容でした。ラベルは商品にとって必要なもの。緊急性が非常に高いものです。その発行やトラブルについてバックアップしてくれる体制は、製品の機能にひけをとらないクオリティだと思いました。我々自身も大切にしようとしている「お客様に対してどうあるか」という事を営業の渡辺さんやヘルプデスクを通して感じる事ができました。

② 出会いはある日突然に

そんなある日、ヒョッコリ現れたのが西サトー営業の渡辺さんです。あまりにも良いタイミングだったので、誰かが呼んでいたのかと思ったほどです(笑)飛び込み営業だったわけですが、プリンタに関しては素人の我々から、やりたいことを聞き出しては様々な提案をしてくれました。



24時間サポート

RESULT

いざ導入！現場の反応は・・・？

手間がかかっていたとはいえ、これまでのやり方に慣れていたメンバー。それでもCLANX-J12の操作にすぐに慣れて、良さを実感してくれたようです。社内の共有ドライブからデータをコピーし、専用ソフト(マルチラベリストV5)に貼り付けるだけでラベルが発行できるのです。これまで時間をかけて確認しながらやってきた事が、ボタンひとつで正確にできます。ラベル発行に1時間かかっていたとしたら、5分にまで減ったという感覚です。

ラベル発行を効率化するだけで良かった。ところが・・・！！

ラベル発行事務の効率化、といった意味では十分な費用対効果がありました。ところが、効果はそれだけではなかったのです。こんなことが出来るなら、こっちをこうしてみよう、といったふうにCLANX-J12を軸にした業務改善の連鎖が起こったのです。活用していく中で当社の情報管理の方法もそれに併せて変化してきました。その整備に2ヶ月ほどかかりましたが、得られたメリットはとて大きなものでした。



(左より) 杉本さん、向後さん、篠原さん



種子冷却庫

ラベルに表示する発芽率は、1年以内のデータが有効と定められています。よって、1年以上在庫している種については発芽試験をおこない、その結果に修正して表示する必要があります。商品を開封し、試験し、最新の情報を記載したラベルを貼って、種を戻して封をする。こちらではその一連の作業がおこなわれています。

VOICE

ラベルローラー巻がアツというまに!?

ラベルの発行は毎日です。普段でも1日5~600枚、繁忙期には1,000枚くらい発行するので、ローラー巻をイッキに使い切ってしまうことも。超高速で出てくるラベルを手で巻き取って、作業机に持って行き、種子袋や筒状のコンテナに貼り付けていきます。



種子・コンテナ貼り付作業

エクセルで発行

していた頃は・・・

CLANX-J12 が来る前はエクセルを使って手入力していたので、文字や数字を誤って発行してしまうことがありました。ラベルシールは無駄になってしまし、再発行するにも印刷スピードが遅いので出荷ギリギリになってしまうこともありました。

ラベル発行に要していた時間を今は・・・

ラベルに関する作業に時間がかからなくなったので、浮いた時間で他の業務ができるようになりました。1,000種類もの種子を扱うため、他の種と混同しないようとても気を使います。ひとつひとつカゴを分けて、同じカゴに違う種類が混在しないように管理しています。こういったミスを予防する作業に時間を割けるようになりました。

まだまだあります!

こうだったらいいのにな♪

ラベル発行自体は楽になりましたが、台紙から剥がして貼る作業は相変わらずちょっと大変ですね。手貼りなので筒状のコンテナに貼る時にシワがよってしまうことも。種子袋に直接印字できるプリンタがあれば最高ですね!

ご意見どんどんお待ちしております!!

編集後記

「我々の取組みを通して花の良さを分かってもらい、実際に花を手にとってもらいたい。そうすることが花業界の発展にも繋がること。遠回りかも知れないが、貢献していきたい。」と、鈴木リーダー。これまでも様々なイベントやスポットに彩を添え、癒しとパワーを与えていたお花。昨今の「インスタ映え」の影響もあり、もはや主役として国内外の人々を魅了しています。サブライチェーンチームでラベル発行に携る3名は、すべてお花業界出身です。経験者でない耳慣れない、膨大な種類の種子を素早く選び取って出荷にまわします。数ある項目をチェックし合いながらの作業で、出荷ミスは殆ど「ゼロ」だそうです。お花が大好きで「ハウスに行けばいつでもお花が見られるのが嬉しい」と仰る皆さまのお役に少しでもたてたら本当に嬉しいと思えるひとときでした。

コラム

夏の風景を思い描くと、必ずと言っていいほど浮かんでくるのがヒマワリの花。まっすぐ太陽に向かって花を咲かせる姿から、「あなただけを見つめている」という花言葉があるそうです。広い畑で咲き誇る姿には圧倒されるほどのパワーを感じます。残念なのは、一週間ほどで枯れてしまうこと。見頃に合わせてお出掛けできるとも限らないですね。ところが!このたびシンジエンタ様より、驚きの「100日咲き続ける」ヒマワリが品種改良の末に登場しました!!テーマパークや各地の庭園にて、これから徐々に普及していくとのこと。青い空と黄色いヒマワリの対比が、ひと夏をとおして楽しめるようになれば、これまで以上に家族の夏休みの風景の一ページとして残っていくお花になりそうですね。



サンフィニティ

現場を止めない予防保守と高速処理の両立を実現!

スキャントロニクス CL4NX-Jシリーズ

スキャントロニクス
CL4NX J

